

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会

令和3年度事業実施報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

鳥取県は、全国の中でも少子高齢化の進行が速く、労働力の減少が続いていることから、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが益々重要となっている。

昨年は、令和2年当初以降新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、拡大・縮小を繰り返し、年間を通じて経済社会活動に甚大な影響を及ぼした1年であった。コロナ禍によりシルバー事業にも大きな影響が出た。しかしながら、令和3年度に入り請負事業については、少しずつ回復基調にある。また、シルバー派遣事業については、令和2年度を上回る契約実績まで回復してきている。

経済指標の一つである有効求人倍率が、令和元年12月までは1.7倍前後で推移していたが、令和2年1月以降急激に下降し、令和2年5月以降は1.2倍前後で推移していた。

直近では令和4年2月分が1.46倍と若干上昇した。有効求人数は令和3年2月以降横ばいであったが、令和4年1月以降上昇し、令和4年2月時点では、1.21倍まで上昇している。

このような状況下においても、高齢者の就労促進は地域経済を支えるため喫緊の課題であることには論を待たない。また、地域においては、高齢者の一人暮らし世帯への支援、子育て支援、介護予防への取組、空き家の適切な維持管理等の人手不足分野への対応などこれまで以上の需要が見込まれる。

このため、引き続き多様な地域ニーズや企業の求人状況などを適宜把握し、就業開拓を積極的に進めるとともに、行政機関と連携した公益的分野への進出・拡大も行い、請負・派遣の事業展開では、受注件数、契約金額、就業延人員とも前年度実績を上回るべく取り組んできたところである。

これを実現するためには、会員の拡大が基本的条件となるため、改正高齢法39条による業務拡大の活用及び高齢者活躍人材確保育成事業による就業体験、技能講習を通じた会員の確保を最重要課題として取り組んだところである。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の急拡大及び高齢法の改正等により、65歳までの雇用確保義務、また、70歳までに雇用の確保等に関する努力義務が法制化された影響等もあり、60歳代の新規加入会員が激減している。従って、今後は新規会員獲得に向けた

魅力ある就業開拓に積極的に取り組まねばならない。

さて、シルバー事業の現状については、令和4年3月末で請負実績（契約金額）において1.3%減、一方、派遣実績（契約金額）においては、4.1%増となっており、事業全体（契約金額）では0.4%の減となっている。

また、会員数については、新規加入者の確保と同時に退会希望者に対する個人面談、就業ニーズに応じた就業斡旋等退会抑止の対策を講じたところであるが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等もあり、全県で会員数が7.4%減、人数にして258人減少した。

	会員数(人)	受注件数(件)	契約金額(円)	就業延人員(人)
令和3年度	3,199	26,777	1,197,333,768	267,032
令和2年度	3,498	27,041	1,202,414,600	270,942
前年比	▼ 258	▼ 264	▼ 5,080,832	▼ 3,910

1 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業は、安全適正就業が基本であり、最優先課題として組織的に取り組みを進めてきた。

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催

第1回

- ① 令和3年6月7日（月）倉吉市 13名参加
- ② 令和2年度事故発生状況について
- ③ 令和2年度安全・適正就業対策推進事業実施状況について
- ④ 令和3年度安全・適正就業推進基本計画（案）について
- ⑤ 令和3年度安全・適正就業対策実施計画（案）について
- ⑥ 令和3年度シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間実施要領（案）について

第2回

- ① 令和4年2月24日（木）倉吉市 14名参加予定
- ② 令和3年度事故発生状況について
- ③ 安全・適正就業推進事業の実施状況について
- ④ 令和3年度安全・適正就業推進事業基本計画（案）について

第2回安全・適正就業推進委員会について、開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症が急拡大したため中止した。

(2) 安全就業対策講習会

- ① 東部地区 令和3年11月26日(金) 参加者13名
- ② 中部地区 令和3年11月22日(月) 参加者17名
- ③ 西部地区 令和3年11月24日(水) 参加者23名

(3) 安全・適正指導者会議

- ① 東部地区(7月12日) 参加者7名
- ② 中部地区(7月15日) 参加者7名
- ③ 西部地区(7月16日) 参加者8名

(4) 安全パトロールの実施

- ・県下12回(対象就業会員121名)

(5) 安全・適正就業研修会の開催

令和3年7月9日(金) 倉吉市 参加者69名予定

- ① 安全就業標語入選者表彰
- ② 講話 「適正な請負とは」
鳥取労働局 需給調整指導官
長谷健太郎 氏
- ③ 事例発表 「安全・適正就業の取組について」
(公社)米子広域シルバー人材センター 事務局次長
潮 道明 氏
- ④ 事例発表 「安全・適正就業について」
(公社)智頭町シルバー人材センター 理事長
谷口辰夫 氏
- ⑤ 事例発表 「安全・適正就業とシルバー運営の現状について」
(公社)倉吉市シルバー人材センター 理事長
中林正樹 氏

以上の予定により開催予定であったが、直前に豪雨により山陰本線の不通、主要県道の通行止め等により中止した。

2 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の意義、理念及び事業活動を県民各層に広く周知するとともに、この事業への理解と参加を求めるため普及啓発活動を実施した。

連合会機関誌「会報鳥取」の発行

令和4年1月 470部

3 就業開拓事業

県内企業、官公庁・各種団体等を訪問し、多様な就業分野の開拓・拡大及び開拓した情報をセンターに提供し、県内全域の就業開拓及び調整を行った。

(1) 就業機会開発推進委員会の開催

令和3年8月4日（水） 倉吉市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

(2) 就業開拓推進員の配置

県内企業、官公庁等を訪問し就業機会の確保・提供及び新たな就業分野の開拓に努めた。

令和3年度 訪問件数 398件

(3) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

・県内企業及び官公庁等を訪問し、ホワイトカラー系の仕事を中心に就業開拓・情報提供に努めた。

令和3年度 訪問件数 398件

(4) シルバー派遣会員就業調査

訪問件数 23件

合 計 421件

4 交流研修事業

シルバー人材センター事業全般に亘っての理解と事業活動の充実、発展を図るため、センター役職員、実務担当者を対象に資質の向上と意識の高揚を図るため研修会等を実施した。

1 経験交流大会

令和3年10月27日(水) 倉吉体育文化会館において開催した。出席者 76名

(1) 講話

- ① 演題 「杞憂」 (公社) 境港市シルバー人材センター理事長
米村健治 氏
- ② 演題 「理事長に就任して」 (公社) 智頭町シルバー人材センター理事長
谷口辰夫 氏
- ③ 演題 「事務局長に就任して」 (公社) 米子広域シルバー人材センター事務局長
先灘 匡 氏
- ④ 演題 「事務局長に就任して」 (公社) 琴浦町シルバー人材センター事務局長
浅田朋典 氏

(2) 基調講演

演題 「WITHコロナの働き方と日常生活」 鳥取市医療看護専門学校長
下田光太郎 氏

2 中国ブロック役職員研修会 (開催県・山口県)

(1) 役職員研修会 令和3年11月17日(水)～18日(木) 山口市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のためオンラインによる動画配信となった。

5 シルバー派遣事業

センター会員の就業・就労ニーズの多様化への対応と職域の拡大に加え適正就業の推進を図った。

(1) シルバー派遣事業運営委員会

第1回

令和3年7月27日(火) 倉吉市 16名参加予定

議題

- ① 令和2年度派遣実績・配分手数料明細(年間)
- ② 令和2年度派遣事業報告書
- ③ 令和3年度派遣事業業績見込(配分手数料)
- ④ 令和3年度派遣事業収支計画書
- ⑤ 鳥取県シルバー派遣実績4ヶ年の推移

- ⑥ 就業実績による有給休暇の付与日数（R2年6月～R3年5月）
 - ⑦ 賃金改定の流れ（年間スケジュール）（「労使協定方式」を選択した場合の注意点について
- 以上の予定により開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

第2回

令和4年3月10日（木） 倉吉市 16名参加

コロナ感染拡大のため、ZOOMによる「オンライン会議」を実施した。

議題

- ① 令和3年度派遣実績・配分手数料見込
- ② 令和3年度派遣事業実績見込
- ③ 令和4年度派遣事業業績見込（配分手数料）
- ④ 令和4年度派遣事業収支予算（案）
- ⑤ 令和3年度～令和4年度見込実績比較一覧
- ⑥ 鳥取県シルバー派遣実績4ヶ年の推移

(2) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）

就業実人員	540人
就業延人数実績	44,263人日

6 シルバー事業支援要請行動

鳥取労働局、鳥取県及び鳥取県議会に対し連合会への支援要請文及び全シ協決議文を持参しシルバー人材センター事業への支援要請を行うことを打診したが、新型コロナウイルス感染症が急拡大したため、直接訪問して支援要請することができなかった。

7 シルバー人材センター指導（原則3年に一度実施）

高齢者雇用安定法第47条に基づき、その設置目的に沿った運営がなされているかの指導及びその他の援助を行う。連合会事務局長が全シ協から指導員として委嘱されたことに基づき実施した。

令和3年11月15日（月）琴浦町シルバー人材センター

令和3年11月22日（月）倉吉市シルバー人材センター

令和3年11月24日（水）八頭町シルバー人材センター

令和3年11月26日（金）三朝町シルバー人材センター

※ 上記4センターについては、今年度は全シ協からの指導もあり、特に補助金等に関する会計・経理業務関係に重点を置いて指導事業を実施した。

8 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー未加入の高齢者、職種転換希望若しくは昨年度1年間就業していないシルバー会員、また、シルバー会員が希望する分野での仕事の発注が見込まれる企業等を対象に、マスメディアを利用した周知・広報を実施するとともに、セミナー・技能講習を開催し、シルバー会員の拡大、シルバーを活用する企業等の増加に努めた。

(1) 周知・広報は、テレビ、ラジオ、県政だより等により会員募集、各商工会議所広報紙等に広告を掲載し、仕事の募集等を実施した。

(2) セミナーは、東・西部地区で「整理収納セミナー」等を開催し、38名が受講した。

(3) 各技能講習は、東・中・西部地区で7種類、16講習を開催、合計で140名が受講した。

介護補助講習	2回	定員20人	受講者 9人
調理補助スタッフ講習	2回	定員20人	受講者14人
ハウスクリーニング講習	2回	定員20人	受講者17人
傾聴スキル講習	1回	定員10人	受講者10人
整理収納基礎講習	3回	定員30人	受講者30人
草刈技能講習	3回	定員30人	受講者31人
剪定技能講習	3回	定員30人	受講者29人

上記の活動等で、156名（目標は67名）が入会した。（達成率232.8%）

9 諸会議の開催

(1) 理事会 6月3日（木）、8月6日（金）、3月18日（金）

(2) 定時総会 6月18日（金）